

伊方町議会第67回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
加藤 智明 議員	1 公共サービスと住民からの要望について	町 長
質問の要旨 私たち町民は、生まれて出生届を出した時から行政との関係が始まり、診療所や保育園、子育て支援をはじめ、学校や図書館、生活においては、上下水道・ごみ収集・し尿処理、年を取ってからは年金、介護サービス、交通サービスの他にも様々なサービスを受け、公共サービス網の中で生活しているといっても過言ではありません。 また、すべての町民に対し、これらの様々な公共サービスを提供し、生活を支えることが地方自治体の存在意義だと思っています。 以前は行政直営で運営していた公共サービスも、時代の変化とともに、限られた予算を有効に活用するため、民間に委託されるようになってきました。 民間に委託した方がコスト削減にもなり、サービスの質も向上するからだと考えられますが、事業者にすべてを任せれば、過疎地域のような採算性の取りにくい地域では、経費や人件費削減といった経営バランスをとるためにサービスが低下するといった危険性も懸念されます。 公共性を持ったサービスを委託や許可するわけですから、行政はしっかりと管理し、指導し、採算の取れない公共サービス事業にあっては補填等の補助そしても、町民に対する公共サービスを維持する必要があるのではないかと思います。 そこで2点についてお尋ねします。 1つ目に、伊方町が民間委託や許可している事業がありますが、公共サービスとして認識されているのか、管理や指導はされているのかお尋ねします。 2つ目に、毎年、各集落から多岐にわたる要望が上がってくると思いますが、こういった手続きにより事務処理されるのか、また、要望した年度に受理されなかったものは、次年度処理されるのかお尋ねします。		